産業遺産学会 2024 年 4 月 8 日理事会 議事録

日時

2024 年 4 月 8 日（月）19:00～21:30、Zoom

参加

秋葉、市川、後藤、小西、菅野、鈴木、時里、中山、横山

報告事項案

（1）学会誌 161 号の発行について（市川）

「論文」としての採択はなかったが、講演録 1 篇、「研究ノート」1 篇、「調査報告」6 篇、「学会動向」1 件、「海外情報」1 件、「書評」4 件を掲載し 82 頁になった。

学会誌 154 号の「論文」レベルから判断して「論文」として投稿したが、査読を通らなかった会員があった。

在任歴の長い人に規定を守らず、無理強いする会員が多い。

表紙デザインの都合で会員に届くのが 3 月になったため、会員からお叱りの声をいただいた。

査読要不要の別から原稿締め切りを見直す。

「二重投稿」の防止を含め 5 月以降、投稿規定を見直す。

（2）ニューズレターNo.30 の発行について（中山）

3 月 31 日付で近日中に発行予定。

短信 1 編、2023 年度全国大会報告、2023 年度総括等を掲載する。

（3）評議員会の開催について（中山）

評議員会の復活までには名簿確認と修正、本人が評議員であることを認識しているかどうか等、難問山積の状態であった。

旧評議員会は複数の評議員が組織理事に個別に質疑するのみで、評議員間での情報や研究意識の共有ができていなかった。その反省を踏まえ、テーマを設定しての評議員会の復活をはかった。

復活評議員会は 2024 年 3 月 3 日（日）、兵庫県尼崎市の旧ユニチカ記念館を会場に、煉瓦をテーマに開催した。非常に充実した会になり、今後の参考になった。

（4）第 48 回（2024 年度）総会について（鈴木、資料 1 、資料 11）

【審議 1 】

経験の浅い企画理事一人では業務遂行に不安がある。秋には大規模特別展があり多忙

をきわめるため、企画理事の補佐役を小西に依頼したい＝理事会承認

【審議２】
６月８日（土）は旧来からの研究発表会ではなく、地域の特性、評議員会からのあたらしい流れ、質の高い博物館催事としての開催を意図してシンポジウムを行いたい。シンポジウムでは、株式会社トチセン（2024 年度推薦産業遺産申請）、旧奈良監獄、旧ユニチカ記念館という東西（栃木県、奈良県、兵庫県）の煉瓦造遺産の保存と利活用、建造物の保存と利活用を目的とするリテージマネージャー、学会の若手煉瓦研究者を交えた質の高い内容に構築する。
→定番の研究発表会不実施には違和感がある。せめて１時間でも時間が割けないか。
→研究発表会はあたらしい研究者や研究内容を知る機会になり、NL や学会誌への投稿動機にもなるので実施するのが望ましい。
→県立博物館の閉館時間は 17 時なので、シンポジウムと研究発表の同時開催は困難。
→シンポジウムを勉強会として位置づけて実施してはどうか。
→研究発表会は後日、独立した形で Zoom 開催としてはどうか（全国大会での前例あり）。行事が多いことは会員には魅力となる。
→午前か午後に限定して後日 Zoom 実施してはどうか。
⇒６月８日（土）はシンポジウムを実施し、研究発表は実施しない＝理事会承認

【審議３】
兵庫県立歴史博物館友の会々員の参加費を無料にできないか。
→2023 年度全国大会では日南町民の参加を無料にした（前例あり）。
→兵庫県立歴史博物館友の会々員数は約 400 で、熱心に学ぶ方が多い。友の会講演会には文化史、産業遺産に関するプログラムを鋭意増やしているので、産業遺産シンポジウムに期待する会員は多い。
→収支に支障がなければ問題ない。
⇒兵庫県立歴史博物館友の会々員参加費は無料とする＝理事会承認

（５）第４回産業遺産学会セルロイド産業文化基金の公募について（鈴木、資料２）
４月末日が応募締め切りだが、まだ応募がない。
関連学会会員も応募可能なので、声がけいただきたい。

審議事項案
（６）2024 年度推薦産業遺産、功労者表彰等について（鈴木、資料３～６）
【審議４】推薦産業遺産３件、保存功労者４件⇒理事会承認

■2023 年度推薦産業遺産

第 130 号：株式会社トチセン煉瓦工場群（栃木県足利市）

第 131 号：波賀森林鉄道廃線跡等（兵庫県宍粟市）

第 132 号：姫路モノレール関連資料（兵庫県姫路市）

■2024 年度保存功労者

保存：髙橋伊佐夫市（岐阜市）

保存：上石津まちづくり協議会（岐阜県大垣市）、時まちづくり活動推進実行委員会（岐阜県大垣市）、九里半歴史文化回廊（岐阜県大垣市）、立命館大学社会学部永橋ゼミ（京都市）、NPO 法人地域再生機構（岐阜県恵那市）
※連名で１通発行（額装１、コピー４）

保存：出口真理氏（鳥取県日南町）

保存：古川則仁氏（鳥取県日南町）

（７）初代門司駅遺構の保存を求める 10 学会合同要望書（九州大学大学院芸術工学研究院福島綾子准教授のご提案）について（時里、小西、資料７）

【審議４】10 学会合同に参加する＝理事会承認

（８）『図説 日本の産業遺産』（仮称）について（横山、菅野、資料８～９）

⇒資料を整え直した上で再審議

その他

（９）第 15 回日本学術振興会 育志賞受賞候補者の推薦について（小西、資料 10）

候補者を推薦する場合は、電子申請システムにログインをした上での手続きが必要

(10)第 48 回（2024 年度）総会資料準備のおねがい（小西）

４月 15 日（月）までにメール送信いただきたい。

監査報告等は 16 日（火）、17 日（水）の監査終了後に提出いただきたい。

2024 年 4 月 16 日

産業遺産学会理事長　小西伸彦